

平成29年度
望月人権文化センター運営委員会
資料

日 時：平成29年4月21日（金）

午後1時30分から

場 所：望月人権文化センター

望月人権文化センター運営委員会次第

日 時 平成29年4月21日（金）
午後1：30から
場 所 望月人権文化センター
多目的利用室

1 開 会

2 部長あいさつ

3 自己紹介

4 会長あいさつ

5 会議事項

(1) 平成28年度 望月人権文化センター事業報告について

(2) 平成29年度 望月人権文化センター事業計画について

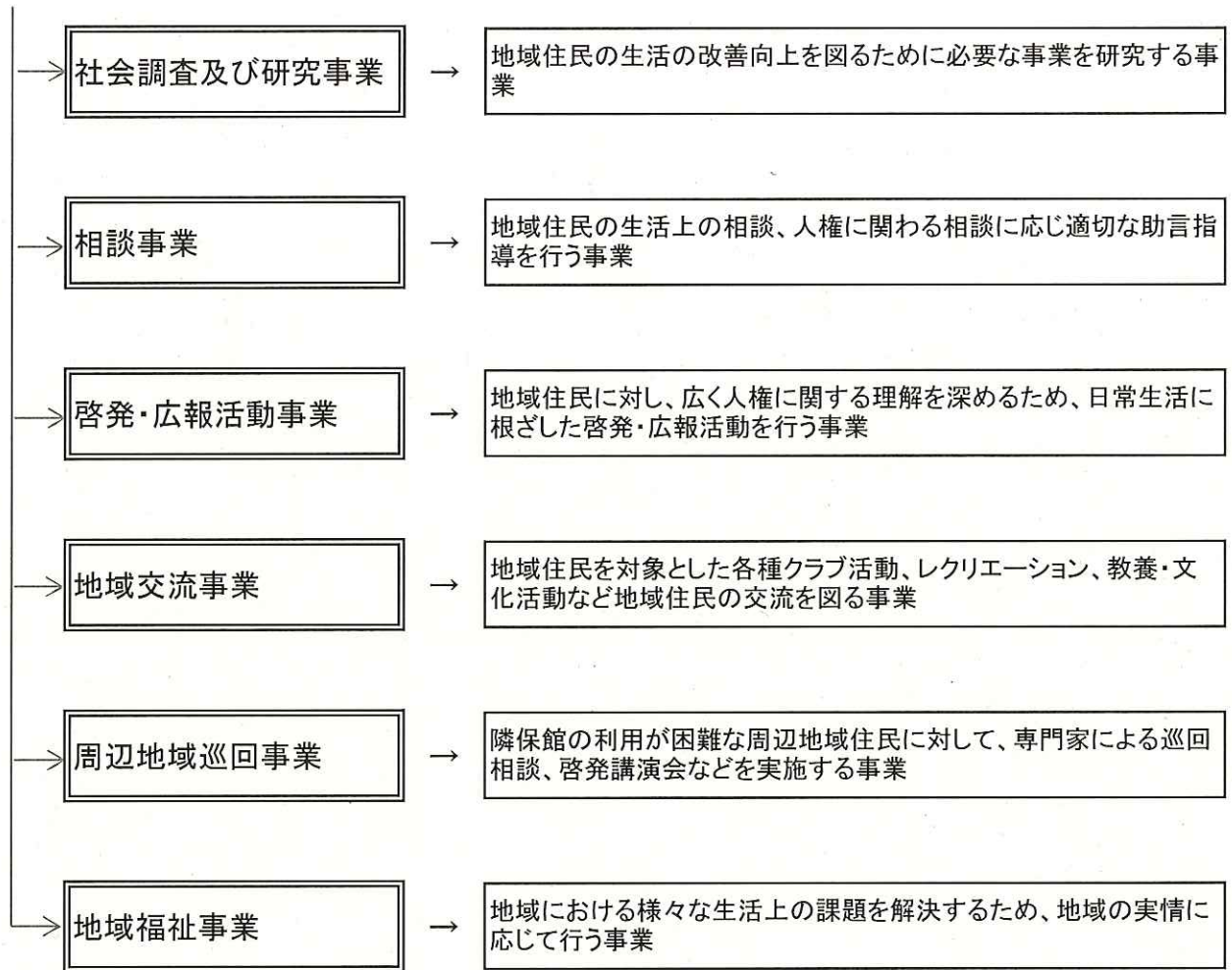
(3) その他

6 閉 会

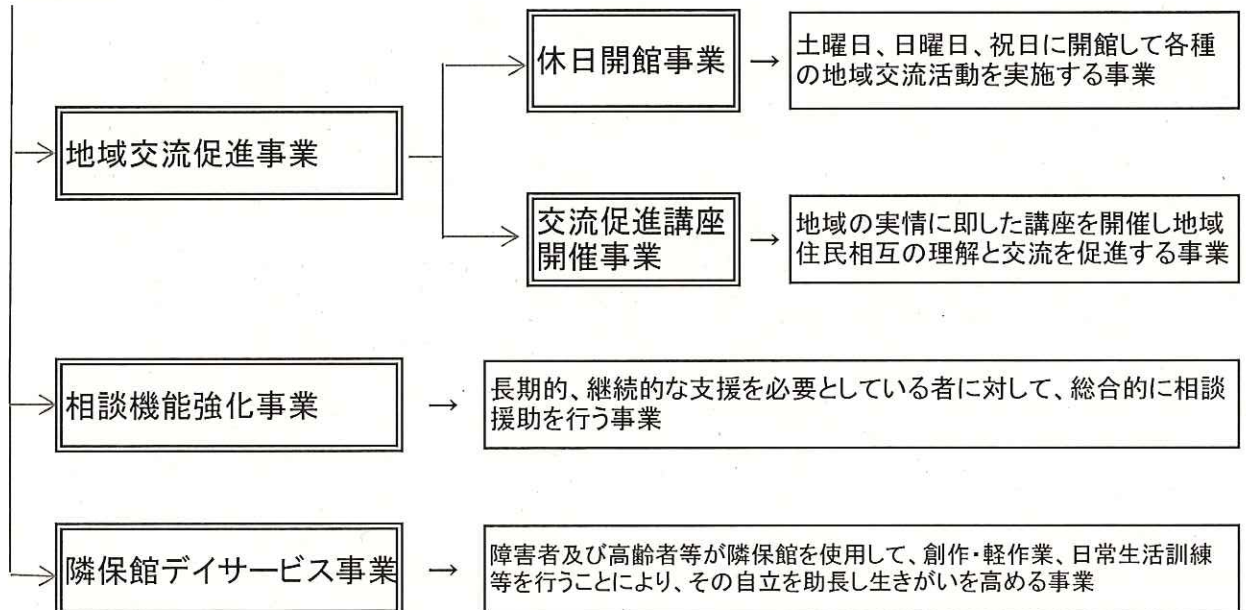
隣保館事業の体系

H14.8.29厚生労働事務次官通知
隣保館設置運営要綱より

基本事業



特別事業



平成28年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題
基本事業					
社会調査及び研究事業	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席 長野県隣保館連絡協議会総会（長野市） 県隣協先進地視察研修（三重県） 全国隣保館職員東日本ブロック会研修会（静岡県） 長野県隣保館関係職員研修会（千曲市） 長野県部落解放研究集会（東御市）	4/13 7/12～13 10/27～28 1/25 1/26	5	6人	研修会等に積極的に参加し先進事例等を学び、他市町村の隣保館関係職員と情報交換し、各事業に活かしていく。
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握				
相談事業	① 個別訪問による相談活動 地区の世帯を訪問し、事業参加を呼びかけたり、各種相談を受けたり、言葉かけを行ったりした。	随時		128件	相談を受ける中で地域の課題や住民ニーズ等を把握し対処していく。また、相談ごとの回答やアドバイスを提供するにとどまらず、悩み事を抱えた相談者の心をケアする場とする。
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行った。				
	③ 健康教室などでの相談 健康教室など事業参加時に相談を受け、助言指導を行った。				
啓発・広報活動事業	① 地区内への通信（そよかぜ）を発行 当館の行事予定、講座・教室へのお誘いなどを掲載した。	4月 6月 11月	3	420枚	住民に来てもらう、見てもらう、読んでもらうために、期待され喜ばれる内容にしている。
	② 人権教育啓発関係図書・ビデオの貸し出し	通年			
	③ 人権パネルの展示 望月人権文化センター内において、人権パネルを展示した。	通年			
	④ 「隣保館だより」の発行（広報佐久3月号別冊） 市内全戸と関係機関へ配布し、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室、講座などを周知した。	3月	1		
	⑤ 人権・男女共生フェスティバルでの作品展示	11/23	1	30人	
	⑥ 人権啓発講演会 望月教育プラットホーム会長竹花英夫氏による「白山の神あれこれ」と題した講演を行った。	12/3	1	50人	
地域交流事業	① 史跡めぐり ・春 飯田市（伊那谷道中） ・秋 塩尻市（奈良井宿） 自然や歴史に触れ、心身ともにリフレッシュし、地域交流を行った。	5/27 10/6	2	20人 18人	今までの実績を踏まえながら、多くの住民に参加してもらえるよう魅力ある内容を検討していく。

平成28年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題
地域交流事業	② 解放子ども会と高齢者の交流会 望月解放子ども会の子どもたちと地域の高齢者が一緒に歌を歌ったり、椅子取りゲームやしっぽ取りゲームをしたり、流しそうめんを食べたりして交流した。また、小諸市の子ども会の会員も加わり活気ある交流ができた。	7/28	1	52人	今までの実績を踏まえながら、多くの住民に参加してもらえよう魅力ある内容を検討していく。
	③ 演奏会 職員を中心としたメンバー6名で演奏した。その中の「幸せなら手をたたこう」「上を向いて歩こう」は演奏に合わせて会場みんなで歌った。もちづき人権フェスティバル・子ども人権フェスティバル内で実施した。	12/3	1	20人	
	④ わくわく体験教室 指導者のもと、子ども同士、親子等がクリスマスリースやしめ縄を作成した。もちづき人権フェスティバル・子ども人権フェスティバル内で実施した。	12/3	1	30人	
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握しながら指導を行った。	通年			事業開催のチラシ等を配布する機会なども利用し、高齢者等が気兼ねせず相談できる関係を構築していく。
地域福祉事業	① 高齢者健康教室 血圧測定、健康相談、日々の食生活での栄養法や熱中症について学習したり、心と体を健やかに保つため、琴の演奏会や望月小唄などの踊ったり、心静かに抹茶をいただきました。第3回の教室はもちづき人権フェスティバル・子ども人権フェスティバル内で血圧測定、健康相談実施した。 ・第1回 ・第2回 ・第3回	6/30 10/21 12/3	3	15人 13人 20人	高齢者の生活を健康面を中心に総合的に支えていくため、各関係機関との情報交換や連携を通じて内容を充実させていく。
特 別 事 業					
地域交流促進事業	① 休日開館事業 毎月、第2・第4土曜日に実施した。(1月は第3土曜日も実施)		25	214人	地域の実態に即した内容にし、多くの地域住民が気軽に参加できる事業とする。
	《 交流促進講座開催事業 》				
	① 手話教室 主に休日開館に併せて実施した。手話を通して障がい者との交流、豊かなコミュニケーションを図ることを目的として実施しました。		25	228人	
	② 初級パソコン教室 6月～1月に開催した。初心者を対象にワード、エクセルの基礎を学びながら交流を図った。	第2・4 金曜日	16	68人	

平成28年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題
地域交流促進事業	③ ヨーガ健康教室 6月～3月に開催した。高齢でも無理なくできる内容で行い、健康保持と交流を図った。	第1・3木曜日	20	367人	地域の実態に即した内容にし、多くの地域住民が気軽に参加できる事業とする。
	④ 押し花教室 5月から8月に開催した。初心者を対象にした内容で、小さい作品から大き目の作品、ろうそくを使った作品などを作る中で交流を図った。	月2回月曜日	8	44人	
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 継続的、長期的に相談援助を必要とするケースについて、自立支援の方策を検討した。 ・第1回 ・第2回	12/15 1/19	2	4人 4人	長期的な視点で、関係機関と連携しあらゆる面から解決策を模索していく。
その他事業					
その他	① もちづき人権フェスティバル ・子ども人権フェスティバル NPO法人、人権団体などで構成する「もちづき人権フェスティバル実行委員会」と「望月解放子ども会」の主催で開催した。 竹花英夫さんによる講演会 解放子ども会の発表 望月中学校いじめ対策委員会によるスライド発表 手話教室による手話ダンス発表 千祥会望月教室による三味線演奏 餅つき大会開催 望月高校人権平和通信の展示 市内小学校児童の人権標語の展示 佐久市人権に関する市民意識調査の結果展示 本人通知制度に関する人権啓発パネルを展示 押し花教室参加者の作品展示 パソコン教室参加者のはがき作品展示	12/3	1	160人	参加したい、利用したいと思ってもらえるような情報発信をし、結果につなげていく。
	② 貸館事業 各種サークル活動、会議などで使用してもらうため部屋を貸し出した。	通年	158	1357人	
	③ ホームページの活用 佐久市のホームページを活用してイベント、講座案内、各種相談窓口の掲載をし、人権啓発や情報の提供を実施した。	通年			
	④ 人権・男女共生フェスティバル 各種教室の作品展示、手話・大正琴などのステージ発表、講談師で保護司でもある一龍齋貞花さんの講演などが行われた。	11/23	1	230人	

隣保館活動状況

【望月人権文化センター】

1. 相談事業実施状況

相談事項	平成28年度相談件数	平成27年度相談件数
生活相談（生活・人権等）	34	45
健康相談（健康診断）	78	54
教育相談（就学等）	7	6
職業相談（就職・失業保険等）	9	12
計	128	117

2. 事業実施状況

事業名	平成28年度		平成27年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	2	80	2	75
地域交流事業	5	140	5	182
地域福祉事業	3	48	3	29
休日開館事業	25	214	25	150
交流促進講座開催事業	69	707	72	761
計	104	1,189	107	1,197
人権センター通信等の発行	9	地区等へ配布	9	地区等へ配布
隣保館だよりの発行	1	市内全世帯配布 (36,000部)	1	市内全世帯配布 (36,000部)

3. その他

事業名	平成28年度		平成27年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
もちづき人権フェスティバル ・子ども人権フェスティバル	1	160	1	145
貸館事業	157	1,357	169	1,551

平成29年度 望月人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数	人件数	備考
基本事業					
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席 長野県隣保館関係職員研修会 他 ② 訪問等による地区世帯状況等の把握		5		
相談事業	① 個別訪問による相談活動 地区の世帯を訪問し、事業実施のお知らせをする中で、相談を受けたり言葉かけをしたりする。	随時			
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行う。	通年			
	③ 健康教室などでの相談 健康教室など事業参加時に相談を受け、助言指導を行う。	事業実施時			
啓発・広報活動事業	① 地区内への通信（そよかぜ）を発行 当館で行われる教室、イベントなどを掲載し、参加を呼びかける。		3		
	② 人権教育啓発関係図書・ビデオの貸し出し	通年			
	③ 人権パネルの展示	通年			
	④ 「隣保館だより」の発行（広報佐久3月号別冊） 市内全戸や関係機関へ配布し、隣保館の取り組みなどを紹介する。		1		
	⑤ 人権・男女共生フェスティバルでの作品展示	11/23	1		
	⑥ 人権啓発講演会	12/2	1		
地域交流事業	① 史跡めぐり 主に地域高齢者を対象に2回実施する。 ・春 伊那市高遠 ・秋 10月頃予定	4/13 10月頃	2		
	② 解放子ども会と高齢者の交流会	7/31	1		
	③ わくわく体験教室	12/2	1		
周辺地域巡回事業	高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護、教育等の相談に応じて、状況を把握しながら指導を行う。	随時			
地域福祉事業	① 高齢者健康教室 高齢者を対象に、心や体を健やかに保つため、健康相談、血圧測定や軽い体操、運動などを行う。また、会食会等を開催し参加者の交流を図る。	6月 9月 12月	3		

平成29年度 望月人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数	人件数	備考
特別事業					
地域交流促進事業	① 休日開館事業 毎月、第2・第4土曜日（1月は第3土曜日も実施）を基本に開館する。平日に来館できない方に利用してもらい、人権、生活相談にも応じる。		25		
	《 交流促進講座開催事業 》				
	① 手話教室 主に休日開館に併せて実施する。より豊かなコミュニケーションを図ることを目的として手話教室を実施し、あわせて交流も図る。	第2・4土曜日	24		
	② 初級パソコン教室 6月～1月に開催する。パソコンの基礎、特にワード、エクセルを学びながら交流を図る。	第2・4金曜日	16		
	③ ヨーガ健康教室 6月～2月に開催する。高齢でも無理なくできる内容で行い、健康保持と交流を図る。（講師都合により3月の実施なし）	第1・3木曜日	18		
④ 教養講座 今年度初開催。お茶・コーラス・押花の3つの講座で構成。多くの人に館に足を運んでもい参加者同士交流を図る。 お茶 5/8・15・22 全3回 コーラス 6月～11月 第2・4（月） 全10回 押花 11/6・20 全2回		15			
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 継続的に支援が必要なケースや解決が困難なケースなどに対応するため、必要に応じ開催し自立支援の方策などを検討する。				
その他事業					
その他	① もちづき人権フェスティバル・子ども人権フェスティバル NPO法人、人権団体などで構成する「もちづき人権フェスティバル実行委員会」と「望月解放子ども会」により開催する。	12/2	1		
	② 貸館事業 各種サークル活動、会議などで地域住民に利用してもらうため、施設の部屋を貸し出す。	通年			
	③ ホームページの活用 佐久市のホームページ内に、隣保館のイベント、講座の案内、各種相談窓口の掲載をし、人権啓発や情報の提供を実施する。	通年			
	④ 人権・男女共生フェスティバル	11/23			佐久平交流センター